

日滿西線時報

北西線旅行 第一信

南鳩生

私は、サンパウロの首府に十
七年も住み、在伯同胞の伴侶たる
べき新聞を發行して居りながら、
今まで僅かに數回、地方を旅行し
ただで、忙がしい、忙がしいで、
サンパウロ市にこびり附いてゐた。
最早や、社や自分の都合で、都
會にのみ離脱してゐるる譯に
がなくなり、愈々去る九月から思
ひ切つて旅行を始めるに至ら思
い始めた。何處を
第一にどうか、首をひねつて
見たら、時節柄さび、集落地の
多い點なら云ひ、ノロエステ線
から始めて見るのが順序らしい思
へたので、それに決してリヌスの
支社に通知した處が、間もなく
バウルの原口書記生殿から「さ
うでノロエステに來るなら六月の
十二日と十三日とが、バウルに
ノロエステ、パカリスタ兩線代表
者の協議會があるから、其の時バ
ウルに來るやうなプログラムで
出掛けはうが」と云ふ意味の手
紙もあつたので、愈々急々、六月
定め去る九月夜ほんの二三の人達
に見送られ(これも断りしたの
だが)でソロカバナ線はバウル
行きの汽車に身を投じたのである
の上部のカマに登り、
したのカマにどんな人が來るかと
注意をはらつてゐたが、九時が十
時になつても來ない、と云つて荷
物のまゝである處を見る空氣で、五
十恰好アセンティロ型の男が物
でもないらしい、或は良い話相手
でもない、他に話込んでゐるの
かも知れぬと思ひながら知らず識
らずの中に眠りに落ち、カタカタ
と云ふ音に眼を醒して見る、五
度此の時分から雨が降出し、
病の喘息が頭をもたげ、呼吸を困
難なじめたので、用意の煙草を葉
を取出し、之にマッチで火を點け

私は、サンパウロの首府に十
七年も住み、在伯同胞の伴侶たる
べき新聞を發行して居りながら、
今まで僅かに數回、地方を旅行し
ただで、忙がしい、忙がしいで、
サンパウロ市にこびり附いてゐた。
最早や、社や自分の都合で、都
會にのみ離脱してゐるる譯に
がなくなり、愈々去る九月から思
ひ切つて旅行を始めるに至ら思
い始めた。何處を
第一にどうか、首をひねつて
見たら、時節柄さび、集落地の
多い點なら云ひ、ノロエステ線
から始めて見るのが順序らしい思
へたので、それに決してリヌスの
支社に通知した處が、間もなく
バウルの原口書記生殿から「さ
うでノロエステに來るなら六月の
十二日と十三日とが、バウルに
ノロエステ、パカリスタ兩線代表
者の協議會があるから、其の時バ
ウルに來るやうなプログラムで
出掛けはうが」と云ふ意味の手
紙もあつたので、愈々急々、六月
定め去る九月夜ほんの二三の人達
に見送られ(これも断りしたの
だが)でソロカバナ線はバウル
行きの汽車に身を投じたのである
の上部のカマに登り、
したのカマにどんな人が來るかと
注意をはらつてゐたが、九時が十
時になつても來ない、と云つて荷
物のまゝである處を見る空氣で、五
度此の時分から雨が降出し、
病の喘息が頭をもたげ、呼吸を困
難なじめたので、用意の煙草を葉
を取出し、之にマッチで火を點け

煙を吸いし始めるこゝが出て、
薬の臭ひが室内に擴がる、と云ふ
具合いでアセンティロ型の紳士
に氣の毒でならなかつたが、これ
も病氣の爲めなら仕方がないし
て、翌朝起きてから言語を爲した
のである。尚紳士は想像の如く、
アセンティロであつた日本人八
家族を使用し、可なり廣い珈琲園
を經營してゐる上に、サンパウロ
の兩市に商業も營んでゐる
リヌスの兩市に商業も營んでゐる
（本紙一週間一回發行）

カルロス・シメント云ふ仁で日
本人の友達を多く持つ、仲々良
い手な人であった。日本と露西亞
が進み進んで、日本と露西亞
の話となり、北米の話となつたが
て、翌朝起きてから言語を爲した
メンケー氏の話は孰れも新聞記事
で見る程度の材料で、近い将来に
戦争は免かれまいと云ふのであつ
たのだ。そこで私は此處ぞと思つ
てアローラン・ボーチュエースで
「戦争云ふものは、然簡単には
吹きかけて來た時に防禦を爲すに
過ぎないが、是れも今處では
本の友達を多く持つ、仲々良
い手な人であった。日本と露西亞
は向うで強がりを云ふもの、
上手な人であつた。

本の友達を多く持つ、仲々良
い手な人であつた。

實際は大の露吹で、日本に撃つて
も病氣の爲めなら仕方がないし
て、翌朝起きてから言語を爲した
のである。尚紳士は想像の如く、
アセンティロであつた日本人八
家族を使用し、可なり廣い珈琲園
を經營してゐる上に、サンパウロ
の兩市に商業も營んでゐる
リヌスの兩市に商業も營んでゐる
（本紙一週間一回發行）

（東京十日）政府の危機勘は、大
藏省事件に關する小山法相の異常事件
に中間報告のある二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れにしても
事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生

（東京六日）國民同盟の内閣總
務が、小山法相の異常事件
に中間報告が右の二十日前後と予想
されるに至つたが、何れにしても
政局の異變は時機の問題と割測さ
れ、政界は依然として陰謀そのもの
の暗雲に包まれてゐる
この空氣は、直ちに各官廳に
この事務は極度に至つたが、何れにしても
手始めに決意したの後生
に手がつかぬ有様である
一方、浮騰立つの政府として文
相補充による陸軍の整備等は昔日
の夢が現実化し、居振り決意したの後生
に至つたが、何れ

